

1 小単元 農家の仕事（教育出版「小学社会3・4上」）

2 単元観・キャリア観（キャリア教育の視点に関わる部分にアンダーライン）

（1）単元観

本単元は、小学校学習指導要領社会科第3学年の内容(2)ーア「地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること。」にあるように、店の仕事（販売）に続いて、工場または農家の仕事（生産）を学び、さらに「自分たちの生活を支えていること」をとらえる単元である。ここでは、自分たちの住んでいる上分地区の生産に関する仕事の一つとしてシントウ農家について取り上げる。自分たちの住んでいる上分地区の農家の仕事が、自分たちの生活を支えていることをハウス見学やインタビュー活動を通して具体的に調べる。上分で作られたシントウが、須崎市や高知市だけでなく、高知県内、県外にまで出荷されていること、シントウづくりの仕事が上分地区の産業として位置づいていることに気付くようにする。

上分地区は須崎の温暖な気候を利用し、新莊川流域の河川敷でシントウ・キュウリ・ミョウガ・オクラなどを栽培している。シントウは中南米原産なので暑さには強いが寒さには弱い（20℃以上必要）。そのため冬場は温暖な地域でのハウス栽培で収穫される。河川敷なので大水のたびに浸水し農作物への被害が甚大であったので、10数年前に土を入れ、1mほどかさ上げして現在に至っている。上分地区で農業に従事する農家を実際に訪問し、農作業の様子を見学・体験し、農家の方の思いを聞き取ってくることで、ものづくりの大変さ・工夫・やりがいなどをつかみ、自分たちの生活が多くの方のはたらきによって支えられていることに気付くようにする。

また、隣の新莊地区と比べると、決して農業に適しているとは言えない上分で、苦勞しながらシントウづくりを続けている青木さんとの交流を通して、自分たちの住む上分でがんばっている大人と出合わせ、自分の将来とのつながりを考える機会としたい。

（2）児童観

本学級の児童は、学習に対し積極的に取り組み、自分の考えも意欲的に発言しようとする児童が多い。1学期から、公民館で行われている百才体操やグランドゴルフ、清流クラブなど、地域の方々との交流を頻繁に繰り返してきており、物おじすることなく楽しく積極的に交わることができる。

社会科では、これまでに町探検、絵地図づくりから地図記号を使つての地図づくりなど、協力してみんなでつくりあげる活動に取り組んできた。調べたことをまとめる・発表するなどの活動も周りとは協力して積極的に取り組もうとできる。しかし、数や量、観点に基づいての観察、調査、他の事象と対比しながらの観察、調査、周りの諸条件との関係づけなど、社会科としての物の見方、考え方はまだまだ身につけていない。また、自分たちの住んでいる上分地区に対して愛着は持っているが、地域を守り、地域を大切にしようとする大人たちの努力についてはあまり意識することなく、当たり前日々を過ごしている子どもたちである。

意欲的に自分の考えを伝えようとする積極性はあるが、聞き手を意識して「分かりやすく伝えよう！」という意識は不十分である。そこで、ペア学習やグループ学習を多く取り入れ、聞いたことを繰り返す・伝え合う・少人数の中で自分の意見を発言するなどの活動を一学期から意識的に取り組んできたところである。

（3）指導観

本校は「自分の考えを持ち、伝え合う活動ができる子どもの育成」を研究主題に掲げ、日々実践している。本単元では、上分地区で広く栽培されているシントウのハウス農家を訪ね、見学・収穫・インタビュー活動を行う。そして、見学したことをもとに学んだことを出し合い、まとめ・発表へとつなげていく。

子どもたちは、地域探検の際にハウス周辺を通っており、また、保護者が手伝いに行っていることもあり、馴染みがある。また、青虫をキャベツ農家の方にいただいたり、無農薬で稲作をしている田でヤゴをとらしていただいたりして、地域の方との偶然の出会いで学習を深めるという

体験を積み重ねている。さらに、今回のハウス農家の青木さんは、本校に子どもが通っており、子どもたちにとって〇〇君のお父さんとして知られている方でもある。子どもたちは今回の学習に興味関心を持ちやすいであろうと予想できる。自分の考えを持つ第一歩は「なんでだろう？」「もっと知りたい！」という興味関心であろう。そこで深まりのある学びができれば、気づいたこと・発見したことを「伝えたい！」という気持ちを自然に持つのではないかと、そういう観点で研究主題に迫ることができるのではないかと考えている。

上分のシシトウがどのようにつくられ、どのような経路で流通し、消費者の口に入るのか、その流れを学習するだけでなく、身近なハウスでのシシトウ栽培に大変な苦労があることに気づくと共に、消費者の一員として地域の生産活動の継続や発展を願う心情や態度を育てていきたい。そして、上分に育つ者として将来の自分自身の姿を見通す契機になればと考えている。

3 単元の指導目標

○教科の指導目標

- ・シシトウ農家を見学する計画を立て、見学を通して農家の仕事の様子をとらえることができる。
- ・生産の工夫や努力、地域とのつながりなどについてとらえ、農家と自分たちの生活とのつながりについて考えることができる。

○キャリア教育視点でのつきたい力

- ・相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。
【人間関係形成・社会形成能力】
- ・上分地区で農業を続けているシシトウ農家の人の努力や工夫、地域に対する思いについて理解し、自分の将来とのつながりを考えたりしている。
【キャリアプランニング能力】

4 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
◎シシトウづくりについて意欲的に調べ農家の仕事と自分たちの生活とのつながりを考えようとしている。 【観察・発言・ノート】	◎シシトウ農家の仕事の様子について、学習問題や学習計画を考え、表現している。 ◎シシトウ農家ではさまざまな工夫や努力により、おいしく安全な農産物を生産していることについて考え、適切に表現している。【発言・観察】	◎シシトウづくりについて、調べる観点にもとづいた適切な方法で調べ、わかったことを農事ごよみやノートにまとめている。 【観察・発言・ノート】	◎シシトウ農家の努力や工夫、地域とのつながり、地域の農業のあり方についての農家の人の願いを理解している 【観察・ノート・発表】

5 指導と評価の計画（全10時間）

時	主な学習活動	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
1 2	シシトウ農家を見学する計画を立てる。	・須崎市の野菜の生産について興味・関心を持ち、見学計画を立てようとしている。	・農家の仕事にはどのような工夫があるのか予想し、学習問題をつくらうとしている。		

3 5	シシトウ農家の見学し、シシトウづくりについて調べる。	・シシトウづくりについて意欲的に調べ、農家の仕事と自分たちの生活とのつながりを考えようとしている。		・見学前に立てた見学の視点に沿って、観察をしたり、話を聞き取ったりしている。	
6 8	見学したことを努力している点・工夫している点の観点に沿ってまとめる。			・シシトウづくりについて、調べる観点にもとづいた適切な方法で調べ、分かったことを農事ごよみやノートにまとめている。	・農家では土づくりや害虫の駆除、育ちを早める工夫など、シシトウづくりの工夫や努力を理解している。
9 本時	まとめたことを発表し、農家の人の工夫や努力、自分たちの暮らしとの関わりについて深める。		・シシトウ農家ではさまざまな工夫や努力により、おいしく安全な農産物を生産していることについて考え、適切に表現している。		・収穫したシシトウが、市内や他地域に出荷されていることや、農家の人が、上分地域で農業を続けていくために、様々な努力をしていることを理解している。
10	学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。		・農家の仕事について学習したことを、キーワードをもとに表現しようとしている。		・シシトウ農家の努力や工夫、地域とのつながり、地域の農業のあり方についての農家の人の願いを理解している

6 本時の指導

(1)本時の目標

- ・シシトウ農家の人の努力や工夫、地域とのつながり、地域の農業のあり方についての、農家の人の願いを理解する。
- ・相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝える。

(キャリアの視点)

(2)本時の評価規準

- ・シシトウ農家ではさまざまな工夫や努力により、おいしく安全な農産物を生産していることについて考え、適切に表現している。(発表)
- ・収穫したシシトウが、市内や他地域に出荷されていることや、農家の方が、上分地域で農業を続けていくために、様々な努力をしていることを理解している。(ノート・発表)

(3)展開

学 習 活 動	指導上の留意点		評価規準 (評価方法)
	○教科等の留意事項	☆キャリア教育視点での留意事項	

<p>導入 (3分)</p>	<p>1 本時の授業の流れを知る。</p>	<p>ホワイトボードで授業の流れを確認する。</p>	
<p>展開 (37分)</p>	<p>2 青木さんのシシトウハウスを見学したまとめを班ごとに発表する。(8分) ○工夫 ・他地域が出荷できない冬場に出荷するようにしている。 ・土づくりにこだわっている。 ○努力 ・大水でつかることがある。 ・害虫の駆除</p> <p>3 学習テーマを確認する。(2分)</p> <div data-bbox="236 987 1153 1043" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>青木さんはどうしてシシトウづくりを続けているのか考えてみよう！</p> </div> <p>4 考える。(3分) 5 話し合う。(15分) ・楽しい！ ・お客さんが待っている！ ・生活のため！ ・上分の農業を守るため！</p> <p>6 青木さんからのメッセージを紹介する。(3分)</p> <p>7 青木さんのメッセージを聞いて思ったことを発表する。(6分) ・上分のことを考えている。 ・農業が楽しい。 ・お客さんのことを大切にしている。</p>	<p>○班ごとに決めたテーマにしたがって調べたことを、電子黒板を使って手書きプレゼン形式で発表させる。 ☆調べたことを友だちに分かるように工夫して発表させる。 ○発表のどの部分がテーマに関わっている内容なのか、意識して聞き取らせる。 ○シシトウの出荷先、農事ごよみを発表の中を含めさせる。 ○ここで学習テーマを提示し、意識化させる。</p> <p>○個人で考えさせる。 ○大変でしんどいシシトウづくりに続けている理由を考えさせる。 ○ペアで相談させたあとで全体で話し合わせる。 ☆青木さんが上分でがんばっている理由を考えようとしている。</p> <p>○事前に教師側が青木さんに取材し、ビデオメッセージの形にまとめ紹介する。 ○全員が発表できるように働きかける。 ☆自分の住む上分のことに結びつけて発表しようとしている。</p>	<p>圃シシトウ農家ではさまざまな工夫や努力により、おいしく安全な農産物を生産していることについて考え、適切に表現している。(発表)</p> <p>圃収穫したシシトウが、市内や他地域に出荷されていることや、農家の方が、上分地域で農業を続けていくために、様々な努力をしていることを理解している。(ノート・発表)</p>
<p>まとめ (5分)</p>	<p>8 まとめる。</p> <div data-bbox="236 1861 1153 1962" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>青木さんはお客さんのこと、上分のことを大切に、一生けんめいシシトウをつくっている。</p> </div>		

(4)準備物

電子黒板、手書きプレゼンテーション、ビデオメッセージ

(5)板書計画

12 / 11

目あて

青木さんはどうしてシシトウづくりを続けているのか考えてみよう！

☆工夫しているところ

他の地いきと出かの時期をずらしている。

土づくりが大事。

須崎の冬はあたたかい。

植える時期をずらして、長い期間しゅうかくできるようにしている。

シシトウの出荷先

◎こんなに大変なシシトウづくりをどうして青木さんは続けているのかなあ？

後をつがないといけない！
農業が楽しい！
生活のため！
お客さんのため！
上分の農業を支えたい！

☆努力しているところ

水につからないよう土地を上げた。

病気が広がらないようにいつも気をつける。

毎日がい虫をくじよしている。

毎日朝早くから農作業している。

農事ごよみ

◎みんなの思いは？

お客さんのためにがんばっている青木さんはえらい！
農業が好きなのがすてき！
身近に青木さんみたいな人がいてうれしい。
上分を大事にしたい！